

旧修繕工場

工場施設

- 建設年：明治34年（1901年）
- 構造：鉄骨造

八幡製鐵所 近代化産業遺産の概要



- 創業時に建設された工場建屋で、その後増築されたが、今もなお整備場として使用されている。
- 製鐵所は、ドイツG.H.H(グーテホッフヌンクスヒュッテ)社の技術を基本に計画・建設されたが、この工場も同社の設計と同社製建築用鋼材で建設。

参考資料－修繕工場その1

旧工場とならび現存する我が国最古の本格的鋼構造工場建物。現在も稼働中。
ロール旋盤、フライス盤が設置され、切削加工による金属部材の製作と機械類の製作、整備を行ってきた。

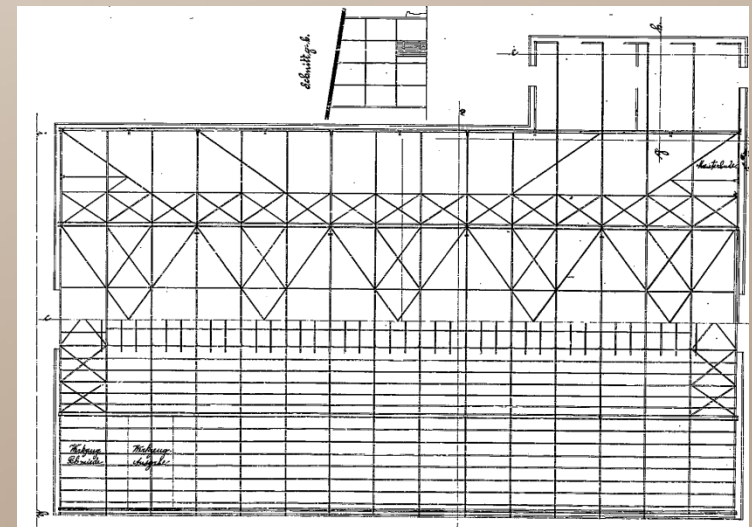
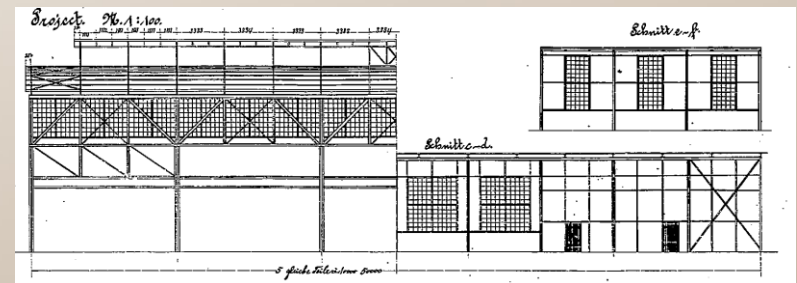
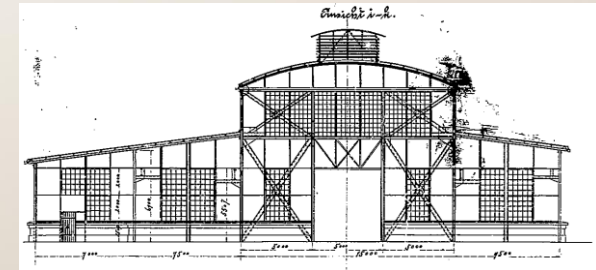
創業時 竣工: 明治33年4月 構造: 鉄骨造平屋
設計: Gutehoffnungshutte (独G.H.H.)
施工: 官営製鐵所 (独人職工長が監督)



明治32年9月10日撮影

当初工場設計図

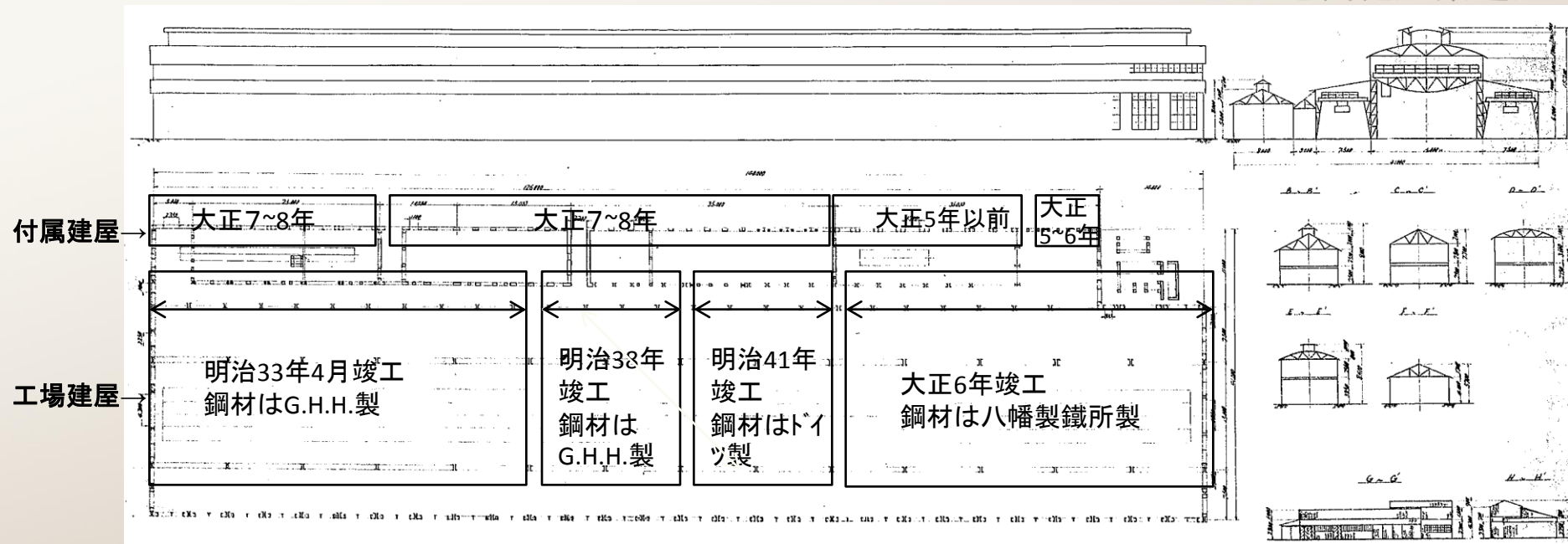
八幡製鐵所 近代化産業遺産の概要



参考資料－修繕工場その2

増 改 築 歴

八幡製鐵所 近代化産業遺産の概要



齢百歳以上のクレーン



明治43年3月13日撮影

製作マイカープレート(左写真点線部)

